

年度	No	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費 (決算額)	(単位：円)	成果目標 (実施計画)	事業実績 (経費内容)	事業効果	所管課
					うち、 交付金充当額				
合計				308,776,965	257,789,403				
R4	1	山木屋地区復興拠点 商業施設新型コロナウイルス感染症対策事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、施設を訪れる方に手指の消毒を促し、感染症対策を図る。 ②山木屋地区復興拠点商業施設	231,000	231,000	消毒液を配置することにより、施設利用者の感染拡大の防止を図るとともに、窓口等へのアクリル板を設置し飛沫を防止する。 消毒液 40本 アクリル板 10枚	事業費計：231,000円 ・消毒液 5L×36本：198,000円 ・アクリル板 10枚：33,000円	消毒液は施設出入口および待合スペースへ設置ならびにアクリルパネルは窓口及び待合スペースへ設置することにより、感染拡大の防止に貢献できた。	原子力災害対策課
R4	2	公共施設等の感染防止対策	①新型コロナウイルス感染症対策として、庁舎内の感染予防対策の徹底により、感染拡大の抑制を図る。 ②役場庁舎	384,769	384,769	庁舎内における感染拡大防止を図る。 ・来庁者窓口アルコール清掃 2回/日 ・会議室等アルコール清掃 使用後随時	事業費計：384,769円 ・清掃用除菌電解水、ファイバータオル：341,704円 ・ペーパータオル、タオルホルダー：43,065円	定期的な消毒清掃等を実施することにより、来庁者及び職員間での感染防止対策を講じることができた。	総務課
R4	5	知育絵本配付事業	①コロナ禍における感染予防のために、増えた在宅時間の中で、子どもが絵本と触れ合う機会を増やし、さらにその絵本が子どもの言葉の理解・発達を促すため、知育絵本を配付する。 ②9,10か月児、1歳6か月児、2歳6か月児	123,750	123,750	対象となる世帯へ知育絵本作成に必要な書類を健診時に配付または郵送により確実に配付する（対象世帯45世帯）	事業費計：123,750円 ・絵本代：123,750円	・知育絵本配付数 56冊 新型コロナウイルス感染症対策のために増えた在宅時間の中で、子どもが絵本と触れ合う機会を増やすため、知育絵本を作成することで、自宅での時間を安心して過ごしてもらうよう寄与することができた。	子育て支援課
R4	6	新型コロナウイルス対策事業（児童福祉関連施設）	①新型コロナウイルス感染症対策として、児童福祉関連施設等での感染拡大防止のために、衛生資材等を整備する。 ②児童福祉関連施設等（子どもの屋内運動場、たのしい教室）	141,018	141,018	子どもの屋内運動場開催日については、休憩時間ごとに1回遊具等のアルコール消毒を実施（1日3回）し、感染拡大防止を図る。 たのしい教室については、開催日に参加者全員の体温測定を実施し、感染拡大防止を図る。	事業費計：141,018円 ・ミルトン：29,700円 ・加湿器フィルター：27,848円 ・ペーパータオル：19,159円 ・ウェルパス：17,094円 ・電動スプレーガン：16,533円 ・オードクリン：15,684円 ・KE除菌クリーン：15,000円	・対象事業 1事業 （たのしい教室については新型コロナウイルス感染症の影響のためR4年度開催なし） 児童福祉関連施設等に衛生用品等を配備することにより、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることができた。	子育て支援課
R4	7	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止のために、衛生資材等を整備する。 ②地域子育て支援拠点事業（子育てほっとステーション）、放課後児童健全育成事業（わいわいクラブ）	319,522	107,522	子育てほっとステーション開催日については、1回以上おもちゃ等のアルコール消毒を実施し、感染拡大の防止を図る。 わいわいクラブについては、1日1回以上、テーブルや椅子などの子どもたちがよく触る箇所の消毒作業を実施し、感染拡大の防止を図る。	事業費計：319,522円 〈子育てほっとステーション〉 ・非接触温度計：7,920円 ・トイレットペーパー：1,688円 ・消毒用アルコール：7,108円 ・消毒用手袋：220円 ・除菌シート：3,140円 〈わいわいクラブ〉 ・ハンドソープ：15,202円 ・ペーパータオル：39,786円 ・除菌クロス：115,500円 ・電子体温計：4,708円 ・消毒用アルコール：61,000円 ・マスク：3,410円 ・ニトリル手袋：59,840円	・対象事業 2事業 衛生資材等を配備することにより、新型コロナウイルス感染症対策及び感染拡大防止対策を講じることができた。	子育て支援課

年度	No	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費 （決算額）	（単位：円）		成果目標 （実施計画）	事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
					うち、 交付金充当額					
R4	8	教育支援体制整備事業費交付金	①幼稚園での新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品を購入する。 ②川俣南幼稚園、富田幼稚園	615,287	315,287	幼稚園開園日については、1日1回以上、テーブルや椅子などの子どもたちがよく触る箇所の消毒作業を実施し、感染拡大の防止を図る。	事業費計：615,287円 〈南幼稚園〉 ・抗原検査キット：52,600円 ・マスク：53,000円 ・消毒用アルコール：72,775円 ・除菌シート：49,500円 ・ハンドソープ：23,760円 ・非接触式体温計：4,950円 ・二酸化炭素濃度測定器：37,840円 ・手袋：7,480円 〈富田幼稚園〉 ・抗原検査キット：73,640円 ・マスク：74,000円 ・消毒用アルコール：61,000円 ・ペーパータオル：45,906円 ・紙カップ：10,256円 ・非接触型体温計：20,700円 ・二酸化炭素濃度測定器：28,380円 まとめ売り値引き：-500円	・対象施設 2施設 子どもたちがよく触る箇所等の消毒作業を実施することで、新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じることができた。	子育て支援課	
R4	9	保育対策総合支援事業費補助金	①保育園での新型コロナウイルス感染症対策として、保健衛生用品を購入する。 ②すみよし保育園	301,277	151,277	保育園開園日については、1日1回以上、テーブルや椅子などの子どもたちがよく触る箇所の消毒作業を実施し、感染拡大の防止を図る。	事業費計：301,277円 ・ハンドソープ：18,453円 ・マスク：133,060円 ・消毒用アルコール：144,100円 ・除菌シート：4,397円 ・清掃用品：1,047円 ・手袋：220円	・対象施設 1施設 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、消毒作業等により、感染拡大の防止を図ることができた。	子育て支援課	
R4	10	公共的空間安全・安心確保事業（20歳のつどい）	①20歳のつどいにおいて、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の抗原検査及び感染防止対策を実施する。 ②20歳及び20歳のつどい出席者	136,370	136,370	出席者へのフェイスシールドの配付と式典出席者（20歳の方）の抗原検査実施により、感染拡大の防止を図る。	事業費計：136,370円 ・抗原検査キット（110人分）：104,060円 ・アルコール除菌スプレー（130個）：25,740円 ・ペーパータオル（50個）：6,570円	令和5年1月8日（日）に川俣町中央公民館を会場に実施し、対象者124人中、89人が参加した。事前に抗原検査キットを配布し、陰性であることを確認のうえ参集し、受付でアルコール除菌スプレーを配布した。イベントを起因とする感染拡大は把握されていない。	生涯学習課	
R4	11	コスキン支援事業	①10月のフォルクローレ音楽祭コスキン・エン・ハポンを開催するにあたり、出演者同士・観覧者の感染防止対策を実施する。 ②ケーナの響くまちづくり実行委員会及びコスキン来場者	734,914	734,914	出演者の感染対策としてマイク消毒スタッフを配置し、感染拡大の防止を図る。 コロナ禍のため来場者の人数制限を設けて実施する。 来場者（3,200名）と出演者（580名）のリストバンドでの入場管理や会場内の消毒	事業費計：734,914円 ・抗原検査キット（30人分）：28,380円 ・リストバンド（3,000枚）・ペーパータオル（60個）：80,950円 ・テントレンタル（3貼）：16,500円 ・オンライン配信稼働費・機器レンタル費：172,644円 ・イベントスタッフ派遣：428,340円 ・アルコール消毒液：8,100円	令和4年10月8日（土）9日（日）、通常の会期3日間を2日間に短縮し、通常の半分程度の97グループが参加した。マイク、テーブル等の消毒、練習会場の確保のための屋外テントの設置、演奏の合間に休憩時間を設け各回の入場者数をリストバンドで把握するなど、感染対策を徹底した。また、人数制限のためイベントに來れないファンのため、演奏をオンライン配信してつながりの回復に努めた。イベントを起因とする感染拡大は把握されていない。	生涯学習課	
R4	16	学校保健特別対策事業費補助金	①新型コロナウイルス感染症の状況下において、学校教育活動の着実な継続のため児童生徒・教職員の感染症対策としておこなう清掃・消毒作業等に必要となる物品の購入等をおこなう。 ②川俣町立川俣小学校、山木屋中学校、川俣中学校	1,242,803	621,803	令和5年1月末までをめどに必要な物品を購入し、学校での清掃・消毒作業等に活用することにより、校内での新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る。	事業費計：1,242,803円 ・使い捨て手袋等 62,780円 ・ぞうきん、ペーパータオル等 104,925円 ・清掃用品等 85,823円 ・ハンドソープ等 63,700円 ・消毒用スプレー等 16,661円 ・消毒用アルコール 6,358円 ・手指消毒液 199,580円 ・スプレーボトル 18,396円 ・非接触体温計 32,000円 ・消毒液用ボトル 33,000円 ・泡石けん用ボトル 25,480円 ・ペーパータオルディスペンサー 5,000円 ・CO2濃度モニター 249,517円 ・充電式クリーナー 221,100円 ・水道用敷きマット 89,100円 ・ビックファン（大型送風機） 29,383円	対象：川俣町立川俣小学校、山木屋中学校、川俣中学校 小中学校における感染症対策用物品の購入を補助した。これにより、学校内における感染防止に寄与することができた。	学校教育課	

年度	No	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	（単位：円）		成果目標 （実施計画）	事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
				総事業費 （決算額）	うち、 交付金充当額				
R4	17	低所得の子育て世帯 に対する子育て世帯 生活支援特別給付金 （上乗せ分）	①コロナ禍の原油価格・物価高騰により真に生活に困っている方々への支援を強化するため、上乗せ給付を実施する。 ②児童扶養手当受給者等（低所得のひとり親世帯）、ひとり親以外の令和4年度分の住民税均等割が非課税の子育て世帯（その他低所得の子育て世帯）	8,700,000	5,500,000	該当者に対してすみやかに支給し、生活困窮者への支援を図る。 7月中の支給開始を目指す。（220人想定）	事業費計：8,700,000円 ・上乗せ給付金：8,700,000円 （児童174名×50,000円）	・給付世帯件数 110件 コロナ禍の原油価格・物価高騰により真に生活に困っている子育て世帯に対し、経済的な支援に寄与することができた。	子育て支援課
R4	18	古閑裕而ゆかりのまち かわまたPR事業費	①古閑裕而氏をモデルにしたNHK連続テレビ小説「エール」の放送を契機とし、本町へ来訪してもらうための仕掛けづくりを行う。本町の観光資源の魅力を発信し、来町者の増加によって、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んでいる地域経済の支援を図る。 ②町民、町内事業所、観光客	825,000	206,250	コロナ禍により落ち込んだ、地域経済の活性化を図る。 イベント参加者数200人	事業費計：825,000円 ・道の駅川俣郵便ポスト装飾業務委託料 川俣エールポスト装飾（1台）：495,000円 ・川俣エールポスト落成イベント業務委託料 イベント業務：330,000円	道の駅かわまたにて「古閑裕而」や「エール」にちなんだ「川俣エールポスト」を設置し、川俣エールポストの落成イベントを開催したことで、イベント参加者数の目標である200人にお越しいただき、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ地域経済の活性化が図れた。	政策推進課
R4	19	新型コロナウイルス感染症対策 町特産品振興イベント支援	①新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大により、多大な影響を受けている飲食業のうち、本町の特産品及び本県ブランド認証地鶏である川俣シャモの振興を目的としたイベントの支援を実施する。 ②川俣シャモまつり実行委員会	817,013	817,013	コロナ禍により落ち込んだ、地域経済の活性化を図る。 イベント参加者数5,000人	事業費計：817,013円 ・広告費：441,320円 ・消耗品費等：375,693円	感染対策を十分に行うことにより、春と夏の年2回川俣シャモまつりを実施し、新型コロナウイルス感染症の影響により影響を受けた川俣シャモの販売促進につなげることができた。	政策推進課
R4	20	道の駅イベント	①新型コロナウイルス感染症により低迷している町内事業者を支援し本町経済の安定と及び町特産品の振興、地域活力の強化を図る。 ②事業の対象 道の駅利用者	4,074,422	1,145,672	コロナ禍により落ち込んだ、地域経済の活性化を図る。 イベント参加者数5,000人	事業費計：4,074,422円 ・道の駅イベント運営費（委託料、出演料、印刷費等）：3,905,000円（年4回分） ・道の駅敷地内除草委託料：169,422円	年間10回のイベントおよび夜間ライトアップされるスノードームを設置することで、新型コロナウイルス感染症により落ち込んでいる道の駅利用者数の増加を図ることができた。	政策推進課
R4	21	織物展示館新型コロナウイルス感染症対策事業	①新型コロナウイルスによる感染防止のため、おりもの展示館職員を増員し、来館者への対応を行う。臨時職員を増員することにより、来館者への対応（検温や手指消毒）や人が触れる箇所の消毒などが徹底され、感染拡大を防止するとともに、利用者の安心・安全が確保する。 ②施設利用者、織物展示館	1,200,540	1,200,540	コロナ禍により利用者数が減少しているため、感染拡大の防止をを図り、利用者増加を目指す。 来館者数 5,000人	事業費計：1,200,540円 ・臨時職員 1名：1,200,540円 織物展示館・からりこ館感染対策対応費用（職員人件費、委託料）	臨時職員（パート）を増員することにより、来館者への対応（検温や手指消毒）や人が触れる箇所の消毒などが徹底され、感染拡大を防止するとともに、利用者の安心・安全が確保されたことにより、来館者数が目標人数より多い5,253人にお越しいただくことができ、利用者の増加が図れた。	政策推進課
R4	22	道の駅川俣新型コロナウイルス感染症対策事業	①新型コロナウイルスによる感染防止のため、道の駅川俣の各施設の出入口に手指用アルコール消毒を設置していることから、継続して消毒を実施する。また、両施設は不特定多数の方が24時間トイレを使用するため、便器等のアルコール消毒を実施する。新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じることにより、道の駅川俣を訪れる方が安心して利用できるようになり、地域経済の発展につながる。 ②道の駅川俣町、施設利用者	652,740	652,740	コロナ禍により利用者数が減少しているため、感染拡大の防止をを図り、利用者増加を目指す。 来場者数 200,000人	事業費計：652,740円 ・道の駅川俣感染対策費用 除菌消臭剤 電解水A液・B液 352,440円 アルベット手指消毒液 300,300円	・来館者への対応（検温や手指消毒）や人が触れる箇所の消毒などが徹底され、館内感染を防ぐことができた。 ・利用者の安心・安全が確保することができた。	政策推進課
R4	23	事業者支援一時金 （原油価格高騰対策分）	①新型コロナウイルス感染症及び原油価格高騰の影響を受けている町内事業者について企業活動の継続及び町内の交通確保を目的として事業者支援一時金を交付する。売り上げが減少した事業者を支援し、町内事業者の事業継続と本町経済の維持が図られる。 ②町内商工業者（正規雇用者数20名以下であり、減収率15%以上の事業者に限る）	57,520,000	36,364,000	町内事業者の事業継続（事業者数の維持）（229社程度）	事業費計：57,520,000円 基本額：47,000,000円 ・従業員数1～10人：205社 41,000,000円 ・従業員数11～20人：20社 6,000,000円 加算額：10,520,000円	新型コロナウイルスによる売上減少に加え、原油価格高騰の影響により事業経費が増加している町内事業者に対して経済的支援することで、事業継続および本町経済の維持に寄与することができた。	政策推進課

年度	No	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	（単位：円）		成果目標 （実施計画）	事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
				総事業費 （決算額）	うち、 交付金充当額				
R4	24	新型コロナウイルス感染症対策 商品券発行事業	①新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大により、多大な影響を受けている飲食店等へ町内経済の活性化により、町内事業者の支援と町民への支援を図る。 ②町民、町内事業者、川俣シルクスタンプ会	98,378,667	98,378,667	コロナ禍により落ち込んだ地域経済の向上や、物価高騰等による世帯の経済的負担の軽減を図るため、町内事業者と町内の生活困窮世帯を除いた世帯を対象とした支援を行う。 商品券 9,943名（全町民-生活困窮世帯員）へ99,430,000円分配布	事業費計：98,378,667円 ・商品券発行事業委託料 98,378,667円	・引換総額 93,920,000円（@10,000×9,392名） 換金総額 93,363,955円（@500×186,728枚） 全町民を対象に商品券を発行したことにより、新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大で多大な影響を受けている町内事業者の支援及び町内経済の活性化、町民の生活支援につなげることができた。	政策推進課
R4	25	新型コロナウイルス感染症対策 元気発進商品券発行事業(原油価格・物価価格高騰対策分)	①新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大における、原油価格・物価高騰により、多大な影響を受けている飲食店等へ町内経済の活性化により、町内事業者の支援と町民への支援を図る。 ②町民、町内事業者、川俣シルクスタンプ会	22,331,354	22,331,354	コロナ禍での物価の高騰等により困窮している世帯への支援を図る。 商品券 2,257名（非課税世帯員）へ22,570,000円分配布	事業費計：22,331,354円 ・商品券発行事業委託料 22,331,354円	・引換総額 21,320,000円（@10,000×2,132枚） 換金総額 21,193,045円（@500×42,386枚） 全町民を対象に商品券を発行したことにより、新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大で多大な影響を受けている町内事業者の支援及び町内経済の活性化、町民の生活支援につなげることができた。	政策推進課
R4	26	住民けんしんインターネットサービス	①通常では住民けんしんは予約制をとっていなかったが、コロナの拡大により3密を避けるため集団検診をすべて予約制とし、予約方法も窓口等の申し込みだと込み合うことが予測されるため感染予防の点から、インターネットサービスの体制を構築する。 ②集団検診希望者（各がん検診、特定健診等）	1,192,000	1,192,000	集団検診をすべて予約制とすることで3密を避ける体制をとり感染予防を図ることができる。 インターネット予約数 230人	事業費計：1,192,000円 ・インターネットサービス利用料：950,000円 ・インターネットシステム改修委託料（取り込み機能追加）：242,000円	インターネット予約サービスを導入することにより、町民の希望する日時に24時間体制で予約できる受診しやすい体制が整えられ、町も検診会場が密になり感染拡大を防ぐ体制が構築できた。 本事業は感染拡大防止と町民の予約システムの利便性の両立を目的に実施したものであり、町民からは例年より短時間で受診が終了したとの声が聞かれ好評であった。 インターネットでの予約数は436人で成果目標を超える実施数となった。	保健福祉課
R4	27	集団検診・健康相談時の保健センター衛生管理	①集団検診では人が多く集まるため、椅子や机などをアルコール消毒し、コロナ感染防止（クラスター発生も含む）に努める。 ④保健センター（集団検診会場）	0	0	集団検会場には不特定多数の方が集まるため、感染防止対策を図る。 受診者総数 1200人予定	事業実施なし	事業実施なし	保健福祉課
R4	28	災害避難所の感染予防対策 自宅療養者の感染予防対策	①災害避難所開設時のために衛生材料を備蓄する。新型コロナウイルス感染者自宅療養者の生活支援・感染防止対策に努める。 ②避難所 避難者 避難所担当職員 新型コロナウイルス感染者自宅療養者	156,050	156,050	指定緊急避難所 18か所を予定 新型コロナウイルス感染者自宅療養者30名 避難所開設時、消毒等を実施することにより感染防止対策が可能となる。	事業費計：156,050円 ・アルコール消毒液、除菌シート等：31,550円 ・新型コロナウイルス感染症検査キット：124,500円	・配備箇所 指定緊急避難所等18箇所 避難所等に災害時非常用備蓄品として新型コロナウイルス感染症対策に係る用品等を備蓄することにより、避難者の感染防止対策に備えることができた。	保健福祉課
R4	30	乳幼児健診（個別健診）事業	①通常3～4か月健診と9～10か月健診は集団健診で実施していたが、コロナの感染拡大のため密を避けるために乳幼児健診を集団から個別の医療機関で実施と変更になったことから、個別検診を実施する。 ②乳幼児健診該当児	312,801	312,801	集団で実施している乳幼児健診を個別に医療機関で実施することで、感染防止対策を図る。 3-4か月児 27名、9-10か月児 51名予定	事業費計：312,801円 ・3～4か月児健診、9～10か月児健診：309,105円 ・郵便料：3,696円	・実施人数 57人 乳幼児健診を個別に受診することにより、新型コロナウイルス感染拡大防止・保護者の不安の軽減に寄与することができた。	保健福祉課
R4	31	介護予防事業等の実施に係る感染防止対策事業	①コロナ禍における、介護予防事業（川俣スポーツクラブ委託の介護予防体操教室）や高齢者の通いの場（サロン）、福祉施設での活動は集団で実施されるため、感染防止対策を強化することにより活動が継続できるよう支援する。 ②事業参加者、福祉施設等	539,297	539,297	集団活動における感染防止対策を図る。 ・介護予防体操教室 13か所、高齢者のサロン 40か所、福祉施設5か所への資材の配布	事業費計：539,297円 以下の事業所等へ感染防止対策のための衛生資材を配布 ・介護サービス事業所：23事業所 ・社会福祉事業所：5事業所 ・社協登録サロン：50箇所分	コロナ禍での活動継続支援のため事業所に対する衛生材料の配布により、安全・安心に介護・福祉施設及びサロンの活動が継続できた。	保健福祉課
R4	32	新型コロナウイルス感染症対策医療・福祉事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症の長期化・拡大により多大な影響を受けている町内事業所（医療・福祉部門）の事業継続、雇用維持を図るとともに、町内経済維持を目的として給付金を交付。 ②前年同月比マイナス15%以上の事業所	4,130,000	4,130,000	町内医療・福祉事業者の事業継続の維持 医療機関・薬局 20か所、介護・福祉事業所 20か所、接骨関係 8か所	事業費計：4,130,000円 支援事業所数 23事業所 ・従業員10名以下 14件：2,800,000円 ・従業員11名以上20名以下 2件：600,000円 ・一般車両 34台分：340,000円 ・福祉車両 13台分：390,000円	新型コロナウイルス感染症の影響により事業所の収益の減少があった事業所に対し、事業者の資金繰りに係る負担の軽減、労働者の雇用維持などを図り、町内経済の維持と事業の安定運営を支援することができた。	保健福祉課

年度	No	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費 （決算額）	（単位：円）	成果目標 （実施計画）	事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
					うち、 交付金充当額				
R4	33	施設園芸用燃油価格高騰対策事業	①施設園芸農業に必要な燃油等の価格高騰により、農業経営に大きな影響を受けている施設園芸農業者（主に花き農家）に対し、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策のため、加温用燃油等の購入量に応じて補助金を交付し、経営の継続・安定を図る。 ②施設園芸農業を行う農業者	9,547,990	6,036,000	施設園芸農業者経営の継続・安定を図る 交付件数20件	事業費計：9,547,990円 ・申請件数27件	施設園芸農業に必要な燃油等の価格高騰により、農業経営に大きな影響を受けている施設園芸農業者27件（花き、タラノメ、野菜苗等）に対し、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策のため、加温用燃油等の購入量に応じて補助金を交付し、経営の継続・安定を図ることができた。	農林振興課
R4	34	農業経営安定対策事業	①新型コロナウイルス感染症の影響等による農業者の収入減少を補償する収入保険の掛金の一部を助成し、加入促進を図る。 ②収入保険加入者	165,559	165,559	令和4年度加入人数15名	事業費計：65,559円 収入保険加入者 13名 保険料のうち掛金 827,823円×20％＝165,559円	自然災害や市場価格の低下,新型コロナウイルス感染症の影響等による収入減少に備える収入保険の保険料の一部を助成したことで、農業者の農業経営の安定及び経営負担軽減をすることができた。	農林振興課
R4	35	郵送申請活用事業 （国民健康保険特別会計繰出）	①国民健康保険の従来は窓口にて対応していた業務について、新型コロナウイルス感染症対策として郵送による申請を実施し、窓口での密状態の防止と対面による感染防止を図る。 ②国民健康保険対象者 1000名	12,428	12,428	手続きについて郵送を活用することにより、密を避け、感染防止に寄与する。 1,000通返信	事業費計：12,428円 ・郵便料 3か月分：12,428円	コロナ禍において、郵便申請（返信含む）を活用することで窓口に来庁することなく各種手続きを完了することができ、結果として密を避け、感染防止に寄与した。	保健福祉課
R4	36	川俣町新型コロナウイルス感染症対策本部からのお知らせ発行事業	①町からの新型コロナウイルス対策に係るお知らせを発行し、町民への情報提供及び感染防止対策の徹底を図る。 ②町民	840,598	840,598	全町民に新型コロナウイルス感染症に関する事業の案内や対策等を周知する。 （毎月5,250部発行）	事業費計：840,598円 ・折込料：99,000円 ・紙代：544,126円 ・印刷費 インク代：115,500円 マスタ代：81,972円	毎月1日に発行している広報誌に新型コロナウイルス感染症対策本部からのお知らせとして、感染症拡大防止に係る新しい生活習慣の実施や、個人消費者や町内事業者への財政支援事業の情報を掲載し、全町民への周知を図ることができた。また、広報誌に掲載しきれないお知らせをまとめたチラシを広報誌へ折込みを行い、町民に対して漏れの無い情報発信を行うことができた。	総務課
R4	37	健診受付郵送活用事業 （国民健康保険特別会計繰出）	①コロナ禍において、集団健診における密を避け、感染防止を図るために、健診を完全予約制とし、郵送により日時等の案内を実施する。 ②国民健康保険対象者 1,200名	49,644	49,644	手続きについて郵送を活用することにより、密を避け、感染防止に寄与する。 1,200通郵送	事業費計：49,644円 ・郵便料 1回分：49,644円	コロナ禍において、郵便申請（返信含む）を活用することで窓口に来庁することなく健診予約手続き等を完了することができ、結果として密を避け、感染防止に寄与した。	保健福祉課
R4	38	集会施設管理運営事業	①新型コロナウイルス感染症対策のため、集会所利用者には定期的な換気を実施するように呼びかけしているが、対象施設には網戸がなく虫が大量に侵入してくるため、定期的な換気を実施が困難な状況にあるため、網戸を設置し感染対策防止を図る。 また、換気による冷暖房の効率化の観点からカーテンを新たに設置し、利用者が換気しやすい環境を整備する。 ②福祉多目的集会所、仲田集会所	590,700	590,700	集会所施設内の換気を図り、施設利用者の感染防止を図る。 網戸設置 26か所 カーテン設置 4か所	事業費計：590,700円 ・網戸設置：26か所 ・カーテン設置：4箇所	網戸とカーテンを設置することにより、集会所施設内の喚起を実施しやすい体制が整い、感染症対策に寄与することができた。	農林振興課
R4	39	畜産飼料価格高騰対策緊急支援事業	①畜産事業者に必要な配合飼料や輸入粗飼料の価格高騰により、畜産事業経営に大きな影響を受けている畜産農業者（酪農業・肉用牛生産業・養豚業・養鶏業）に対し、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策のため、飼料の購入量に応じて補助金を交付し、経営の継続・安定を図る。 ②畜産事業を行う農業者	12,276,805	7,761,000	畜産事業者経営の継続・安定を図る 交付件数約30件	事業費計：12,276,805円 ・交付件数：22件	新型コロナウイルス感染症の影響による飼料価格の高騰を受け、経営が悪化した畜産業者に対し、営農の継続・安定化を支援することができた。	農林振興課
R4	40	肥料価格高騰対策緊急支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響による、原油価格・物価高騰により経営が悪化している農業者を支援し、営農意欲の低下を防ぎ、営農の継続を支援する。 ②営農している農業者	11,664,267	7,374,000	農業経営の継続・安定を図る 交付件数約500件	事業費計：11,664,267円 ・交付件数：134件	新型コロナウイルス感染症の影響による、原油価格・物価高騰により経営が悪化している農業者を支援し、営農意欲の低下を防ぎ、営農の継続を支援することができた。	農林振興課

年度	No	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	（単位：円）		成果目標 （実施計画）	事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
				総事業費 （決算額）	うち、 交付金充当額				
R4	41	コスキンパレード代替イベント実施事業	①コスキン・エン・ハボンの前祭りとして毎年開催されているコスキンパレードは大勢の方が沿道等に集まり密集することを回避できないことから、中止となったパレードの代替イベントを実施するため実施団体へ補助金を交付する。 ②補助金交付団体：聚溪会	382,000	382,000	コロナ禍のために中止となった代替イベントとして、アルゼンチン文化に触れてもらう場を提供し中心市街地の活性化を図る。 来場者数500人、広報新聞の発行4,500部、サテライトステージ10グループ出演	事業費計：382,000円 （補助金の使途） ・新聞チラシ作成・折込料：118,074円 ・DTPソフト購入費：17,904円 ・会場使用料：40,000円 ・仮設足場設置費：40,150円 ・横断幕作成費用：29,947円 ・テント・テーブル等レンタル：36,190円 ・衣装制作：37,840円 ・その他消耗品等：61,895円	令和4年10月8日（土）に実施した。通常は約1000人が参集し、来町者を歓迎するコスキンパレードとして実施されるが、その代替イベントとして、ダンス披露や演奏、中南米料理の売店により賑わいづくりに努めて実施した。町内店舗の駐車場を会場として設置し、新聞広告、各種チラシの配布等広報に努めた。一定の賑わいが確認されたが、イベントを起因とする感染拡大は把握されていない。	生涯学習課
R4	42	マイナンバーカード出張申請事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、窓口での密状態の防止と対面による感染防止を図るため、マイナンバーカードの出張申請を実施する。 ②出張申請参加者・参加団体	923,182	923,182	町内のマイナンバーカード取得率80%	事業費計：923,182円 ・出張申請謝礼金：650,000円 ・消耗品費：21,150円 ICカードリーダー 1台：9,900円 透明アクリル板 7,700円 消毒用アルコール 3,550円 ・印刷製本費：154,000円（チラシ4000部作成） ・役務費：21,582円（出張申請用Wi-Fi利用料） ・備品購入費：76,450円 撮影用背景2台：41,800円 撮影用ライト1台：19,900円 撮影用ライト1台：13,750円	役場への来庁数を抑制することができ、感染予防・感染拡大防止対策を講じることができた。 出張申請団体 19団体 申請者154	町民税務課
R4	43	証明書コンビニ交付事業	①新型コロナウイルス感染症対策として、窓口での密状態の防止と対面による感染防止を図るため、マイナンバーカードを用いた証明書コンビニ交付のさらなる普及促進を目指し、コンビニ交付での証明書発行手数料の減額を実施する。 ②コンビニ交付での証明書取得者	0	0	住民票・印鑑登録証明書発行の50%をコンビニ交付での発行とすることを目指す。	事業実施なし	事業実施なし	町民税務課
R4	44	事業者支援一時金（重点交付金分）	①コロナ禍において、燃料・電力・ガス・食料品価格等高騰の影響により事業経費が増加している町内事業者について企業活動の継続及び町内の交通確保を目的として事業者支援一時金を交付し、町内事業者を支援し事業継続と本町経済の維持を図る。 ②町内商工業者	54,300,000	46,178,000	町内事業者の事業継続（事業者数の維持）（587社程度）	事業費計：54,300,000円 ・従業員数1～10人：301社 30,100,000円 ・従業員数11～20人：31社 6,200,000円 ・従業員数21～50人：14社 7,000,000円 ・従業員数51～：11社 11,000,000円	事業における電気・ガス等のエネルギー経費が増加している町内事業者に対して経済的負担の軽減を図ることができ、本町経済の安定と地域活力の維持・増進に寄与することができた。	政策推進課
R4	45	エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援事業	①コロナ禍において、原油価格高騰等により事業経費が増加している、医療・福祉関係事業所に対するガソリン・灯油の燃料費を助成し、事業の安定した継続を支援する。 ②町内の医療・福祉事業所	9,100,000	7,739,000	医療・福祉関係の事業所における、燃料代にかかる負担の軽減を図ることができる。 医療・福祉関係事業所 48事業所	事業費計：9,100,000円 支援事業所数 43事業所 ・従業員10名以下 33件：3,300,000円 ・従業員20名以下 4件：800,000円 ・従業員50名以下 2件：1,000,000円 ・従業員51名以上 4件：4,000,000円	原油価格高騰等により事業経費が増加している、医療・福祉関係事業所に対するガソリン・灯油の燃料費を助成し、事業の安定した継続を支援することができた。	保健福祉課
R4	46	公共施設等の感染防止対策事業（リモート会議対応事業）	①コロナ禍において感染防止対策のため、リモート会議が増加しているため、円滑にリモート会議に対応し、かつ感染防止対策を図るため、庁舎内に個室ブースを設置する。 ②役場庁舎	2,750,000	2,750,000	コロナ感染拡大防止を図るため、対面での会議を極力減らし、リモート会議を推進する。 年間利用回数 80回	事業費計：2,750,000円 ・個室ブース 2台：2,750,000円	リモート会議を推進し、接触機会を減らすことにより感染対策を講じることができた。 役場1階、2階事務室内に個室ブースを設置。年間利用実績：1階102回、2階88回	総務課
R4	47	オンライン連絡等システムの構築事業	①行政相談や行政連絡、災害時の安否確認などを、コロナ感染防止の観点から非接触型で可能とするサービスを構築する。 ②町民等	0	0	受付件数 100件	事業実施なし	事業実施なし	政策推進課

年度	No	交付対象 事業の名称	①事業の概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費 （決算額）	（単位：円）	成果目標 （実施計画）	事業実績 （経費内容）	事業効果	所管課
					うち、 交付金充当額				
R4	48	川俣町地域医療（遠隔診療）環境整備事業	①新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン等の遠隔診療に係る環境を整備する。 ②医療従事者・住民全般	1,113,198	1,113,198	診療件数 60件	事業費計：1,113,198円 ・助成金交付件数 2医療機関：1,113,198円	コロナ禍において、感染症予防のため需要が高まっているオンライン診療事業につき、町内医療機関に対して事業に係る助成を行うことで、通信機器を活用した遠隔診療体制の検証を行うことができ、また、他県の視察等を通じ、今後のオンライン診療に向けて事業を推進することができた。	保健福祉課